

進路だより



岡山県立
倉敷琴浦高等支援学校
令和3年6月号

世の中はコロナ禍で、岡山県も5月に緊急事態宣言が出され、更に期間を延長する事態になってしまいました。日々感染しないように注意しながらの生活で気持ちも暗くなりがちですが、コロナもいずれ収束するということを期待して『今できること』を考え、乗り切っていきましょう。

9期生の定着支援



今年度が始まってもうすぐ2カ月。9期生が就職して1月以上が過ぎました。4月に働き始めてから気が張っていたのが、5月の連休を過ぎるとフッと気持ちが緩んで会社に行きづらくなったり、働くことに迷いが出てきたり、いわゆる『五月病』が心配になる時期です。そんな病になっていないか、職場の方々とうまくいっているか、学校を代表して進路指導の金井が様子を見に行きました。

現在9期生の3分の2ほどの職場を訪問して様子を聞いたり、本人から話を聞いたりしています。残念ながら緊急事態宣言のために訪問を延期することになった人もいますが、訪問できたところは職場での評価が概ね良く、9期生は社会人1年生としてしっかり頑張っているようです。

また、7～8月には、卒業後3年までのアフターケアを全職員で分担して行う予定です。予定どおり緊急事態宣言が解除され、訪問の許可が出たら…の話ですが、昨年度もコロナの影響で訪問できていないので、今年こそは実施したいと思っています。

6月の現場実習



この度の緊急事態宣言が出される前から学校ではいろいろと議論していたところだったのですが、結局、2年生の現場実習1を7月1日(木)～7月14日(水)の期間に延期することになりました。緊急事態宣言が出されたことで当初の予定(6月7日(月)～6月18日(金))では行えなくなったことが要因です。

2年生は、自分の適性を見極めながら進路の方向性を探る段階で、学年末には方向性を決めます。1つ1つの実習がとても大切な意味を持っていますので、可能な限り実施の方向で進めています。予定が変更になり保護者の皆様にも事業所の方々にも御迷惑をおかけしたことと思いますが、何卒御理解いただき、生徒のよりよい進路選択のため、御協力をお願いいたします。

また、3年生の前提実習1については、3年生が進路を決めていく大切な時期であるので、受け入れ側が許可していただければ、6月に実習を行えることになっています。

実習できることに感謝の気持ちを持ちつつ、3年生のみなさん・・・ **FIGHT!**

令和3年度 第1回 企業参観日

コロナ禍ではありますが、感染対策を十分に行った上で 7月14日（水）に、本年度第1回の企業参観日を開催することとなりました。

企業参観日は、企業関係者の方々に本校の授業を参観していただき、障害者雇用を促進することと、雇用する側の御意見・御要望等を伺って本校の教育をより良いものにするを目的とした行事です。

また、今回は障害者雇用や働き続けるためにどのように支援していくか等を内容とした講演会を企画しました。この御時世ですので、オンラインでの講演会とすることにしました。

講演会は企業の方だけではなく、本校の保護者の方にも聴いていただければとも思いますので、御希望の方は、申込書（5月31日配付済）を御提出の上参加ください。

【講師紹介】



～誰もが働きやすく、誰もが生きやすい社会へ～

『会社を変える障害者雇用』著者の紺野大輝です。

私は現役の会社員として働く傍ら、障害者の雇用を検討している企業のみなさまの最初の一步を支援する活動を行っております。

私には生まれつき脳性麻痺という身体障害があります。これまで、当事者として2社で20年間働いています。

また、現在は従業員1800名の企業の人事部に勤務し、障害者の採用や教育に携わっています。

「障害者として働く立場」と「障害者を雇用する立場」、この実体験をベースに講演や執筆などを行っています。

「障害者雇用は、健常者の採用や教育となんら変わらないんですね」

こちらは参加者の方から最もいただく感想です。このことに気がつくとも加速度的に進められるようになります。誰もが自らの能力を活かして働ける社会の実現を目指して。

いつか障害者雇用という言葉や法定雇用率という概念が必要なくなる社会を目指して。

そのような想いを持って活動をしています。

※企業関係者向けの案内等を本校HPにもアップしておりますので、御参照ください。